



日本共産党 北区議会議員

# のの山けん区政レポート

<http://kyoukita.jp/nonoyama/> [mail@ken-nonoyama.com](mailto:mail@ken-nonoyama.com)

No.427 2017.3.15

日本共産党北区議員団

〒114-8508 王子本町1-15-22

ご相談は  
お気軽に **090-2156-3510**

3.11

東日本大震災  
福島第一原発  
事故から6年

# 原発のない日本を

## 2017 さよなら原発 in 飛鳥山



東日本大震災、福島第一原発事故から6年を迎えた翌日の12日、王子駅前公園で「2017 さよなら原発 in 飛鳥山」が開かれ350人が参加、集会後は王子五丁目までパレードしました。(のの山けん)

うたごえの演奏で幕を開けた集会。最初に登壇した、ひなん生活をまもる会代表の鴨下祐也さんは、今も不自由な避難生活を続けている原発事故自主避難者の家賃補助が3月末で打ち切られようとし

ていることを批判、「原発事故によって住む場所を奪われた避難者への住宅提供は『支援』ではない。4月以降も生活できるよう交渉を続ける」と訴えました。リレートークでは、市民団体、自主避難者らのスピーチや歌によるアピールが続き、日本共産党の池内さおり議員は「ただただ立ち尽くすしかなかった6年前。ボランティア先では、こんなの嘘であってほしいと涙が止まりませんでした。課題は山積みだが、震災復興、原発ゼロに向けて力を尽くしたい」とあいさつしました。

民進党、社民党、日本共産党の区議も超党派で参加、私も「すべての原発の廃炉をめざしてがんばります」と決意をのべました。



あいさつする池内さおり衆院議員



超党派で勢ぞろいした区議会議員



開会前のうたごえパフォーマンス

十条・補助73号線は延焼遮断帯にあらず

# 「防災道路」の根拠崩れる

都議会予算特別委 そねはじめ都議が小池知事に計画見直しを迫る

13日の都議会予算特別委員会で、そねはじめ都議は、十条銀座商店街に並行し、約200棟を立ち退かせる補助73号線について、計画を見直すよう小池知事に迫りました。

そね都議は、73号線はこれまで、地域住民に延焼遮断効果の高い防災道路と説明されてきたが、もともとは延焼遮断帯として位置づけられておらず、都が昨年3月に改定した「東京都防災まちづくり推進計画」でも、73号線が延焼遮断帯とされていないことを指摘。「すでに埼京線の線路や、東側の補助83号線が延焼遮断帯の役割を果たしており、新たに73号線を燃え広がりを防止の理由でつくる必要はなかったはず。特定整備路線の第1次



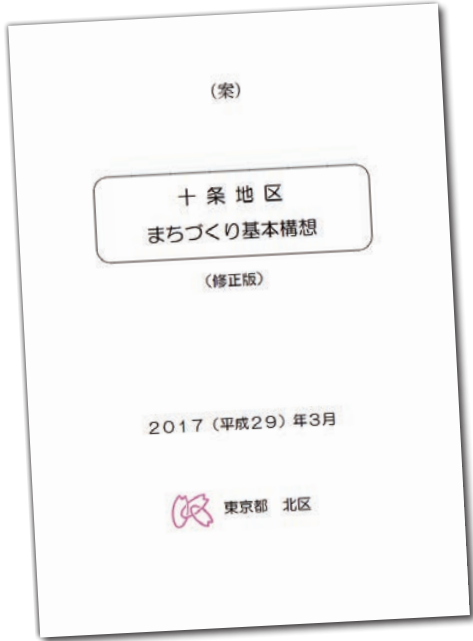
予算委員会で質問する、そね都議

候補路線に入っていない。次で突如入ったのはなぜか」との質問に、都側は「地元に通じている北区からの要請があった」と答えました。今回の質疑によって73号線の「防災道路」

としての根拠が崩れ、都によるこれまでの住民説明が虚偽だった疑いも出てきました。

一方、同じ日に開かれた北区議会十条まちづくり特別委員会では、北区が「十条地区まちづくり基本構想」の修正案を説明。私は、大幅な事業の進捗を書き込む事実上の改定にもかかわらず、パブリックコメントもおこなわず「修正」で済ませようとしていることを厳しく批判しました。

(のの山けん)



十条地区まちづくり基本構想(修正版)の案



都議会議員

そねはじめ



党書記局長・参議院議員

小池晃



衆議院議員

池内さおり

日本共産党  
街頭演説

4月9日

午後2時 赤羽駅東口

主催 日本共産党北地区委員会